

**【速報】学校でのマスク着用「教職員、率先し外す指導を」 千葉県教委、県立学校や市町村教委に通知**

5/22 千葉日報



新型コロナ対策の学校でのマスク着用について、千葉県教委は22日、児童・生徒が自ら外す選択ができない状況が生じないよう「教職員が率先して外す指導・支援を行い、着用が不要の場면을継続的に伝える取り組みが必要」とする通知を県立学校や市町村教委に発出したと発表した。通知は19日付。また、学校生活全般において「原則として着用は不要」との考えも明示した。

県教委は4月6日から、新型コロナに関する電話相談窓口を設置。27日までに保護者らから23件の相談があり、多くが児童・生徒がマスクを外す選択をしたくても外せない状況にあるという内容だったという。

**体育、先生も脱マスク 松戸市教委指針改訂 「大人が外さない」と 新型コロナ5類移行 2023年1月21日千葉日報**

松戸市教委は20日までに、「学校における感染症感染拡大防止ガイドライン」を改訂、体育の授業時について新たに「指導者および見学者もマスクを外す」などと変更した。

市教委は「コミュニケーション能力育成などコロナ下の教育で失われたものは多い」としており、今後も適宜、対策緩和を行う考えを示した。

同ガイドラインはこれまで、児童生徒に対し「体育、休み時間等の外遊び、部活動における運動時」にマスクを外すことを促してきたが、体育授業中もマスクを着けている子ども

も多いのが実情だった。市教委は「周りの大人が外さないと子どもも外さない」と改訂の理由を説明した。

また、給食についても、これまで全面的に「会話は控える」としていたのを「大きな声での会話は控える」と改訂。「食事を通してよりよい人間関係を構築できるように工夫する」との文言も盛り込んだ。

このほか、卒業式などの学校行事や集会については「(身体的距離が) 密集してしまう場合はマスク着用」などの開催条件を明記。これまで保護者の参加ができない場合も多かったが、市教委は「条件を示すことで多くの保護者に参加してもらえるようにしていく」としている。

市教委学校保健担当室は5類移行を見据え、「コロナ下での学校生活に慣れ、子どもたちはマスク生活などがスタンダードになっている。教育現場でも感染状況を見ながら対策緩和が進むと想定されるが、対応できない子どもたちへの目配りもしっかりしていく」と話している。

#### ◆医療体制確保は重要 船橋市長

5類引き下げについて、船橋市の松戸徹市長は「ウィズコロナの在り方として検討は必要だが、特に高齢者の死亡者の増加をみても医療体制確保は重要と考える。何よりも判断の医学的根拠を丁寧に示してもらいたい」とコメントした。

#### ◆国・県と連携対応 柏市長

柏市の太田和美市長は、移行を歓迎するとしつつ「重症化リスクの高い方や重症患者への対応に影響が生じる懸念があるため、市民が安心して日常生活を送ることができるよう、国・県と連携して対応していきたい」とコメントした。